

湿度、水分計測・センサ研究会

創立40周年記念誌

記念講演会及び記念式典

2024年7月26日 於：グランドヒル市ヶ谷

湿度、水分計測・センサ研究会

The Japan Society for Humidity and Moisture

目次

創立40周年を迎えて	1
40年の歩みに寄せて	2
基調講演 「CRDS、月へ行く」	9
記念講演A 「A Humidity Journey」	29
記念講演B 「NMIJ における湿度の標準と計測の研究」	47
研究会の活動記録	72
研究会会員一覧	92

創立40周年を迎えて

湿度、水分計測・センサ研究会 会長／国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター
物質計測標準研究部門 ガス・湿度標準研究グループ／上級主任研究員 **阿部 恒**

湿度、水分計測・センサ研究会は2024年6月で創立40周年を迎えました。当研究会の前身である「湿度センサ研究会」は湿度計測に関わるメーカーとユーザーの相互理解を図る目的で発足し、その第1回の研究会が1984年6月18日に開催されました。その後、本研究会の名称を1987年4月に「湿度計測・センサ研究会」に変更し、そして1992年7月には現在の湿度、水分計測・センサ研究会に変更しています。これら3つの名称の研究会においてそれぞれ26回、36回、116回の研究会を開催しており、合計で178回を数えます（2024年7月現在）。

当研究会は、民間企業、大学、国立研究機関の湿度関係者が定期的に一堂に会する国内唯一の湿度・水分計測に特化した研究会です。比較的規模の小さな研究会がここまで長く続いてきたのは、会員、幹事、事務局の方々のご支援とご尽力のおかげに他なりません。歴代会長の加納先生、一ノ瀬先生、原先生の強力なリーダーシップも不可欠な要素でした。そして何より、当研究会の参加メンバーが湿度と水分の計測やセンサの話が好きで、このような貴重な場を大切にしたいとの思いが強かったことが最大の理由と考えています。

当研究会の研究対象であります水は、地上の通常の雰囲気において、窒素、酸素に次いで3番目に多いガス成分であり、最大量の極性分子でもあります。室内、製品製造ライン、超高純度ガス中、超高真空装置内部、高層大気などのいかなる環境においても水は必ず存在し、さまざまな物質・生物に対して、物理的、化学的、生物的な作用を及ぼすため、湿度・水分の計測・制御は幅広い分野で必要とされています。特に近年は、自動車、製薬、二次電池、半導体等の先端産業分野で使用される湿度センサ・水分センサの需要が急激に伸びています。その一方で、湿度・水分の計測技術・センサ技術については、まだまだ改善の余地が十分にあるという非常にエキサイティングかつチャレンジングな研究分野です。小型・安価・高速・高精度・高信頼性の湿度センサ・水分センサの開発を目指して、これからも地道な研究・開発を長く続けていく必要があります。

当研究会がそのような研究・開発に関係する国内外のあらゆる情報及び活動のネットワークの拠点となり、この研究分野の発展により一層貢献することを願っています。

